

取扱説明書

No.1 2019年4月現在

DIRECT DRIVE

THROTTLE DIRECT CONTROLLER

86 & BRZ 専用品

品番：DDC-T

●説明書は保管してください

本説明書は大切に保管し製品を他人に譲る場合は必ず説明書もお渡しください。

●作業が不安な方へ

装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。

警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 装着は説明書の接続手順通りに行ってください。
- コードの被ふくが閉閉部などに挟み傷つくような装着はしないでください。
- コネクターはコードを引っ張らずコネクター部を持って抜いてください。
- 製品は高温になる場所には装着しないでください。
- コードは高温にならない場所に絡まないように束ねてください。
- ユニットは水がかかる場所を避けて装着してください。
- 装着時に外した車輛側部品は必ず元に戻してください。
- 製品を分解または改造しないでください。

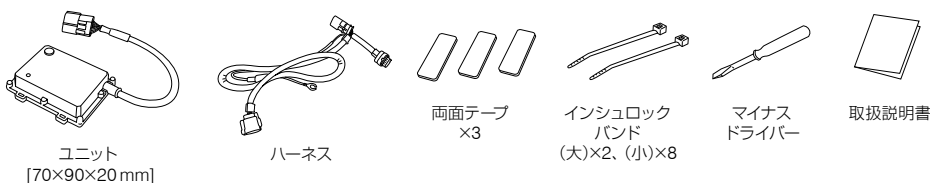
注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 対応車以外には装着しないでください。
- 間違った装着や使用方法により生じるクルマの部品故障などについて弊社では責任を負いません。
- 純正 ECU 以外との動作については未確認です。

目次

警告・注意・セット内容	1
特長	1
各部の名称	1
接続方法	2
センサーの位置と固定例	3
固定方法	3
レベル調整	4
故障かな?と思ったら	4

内容物をご確認ください



特長

本製品は 86 と BRZ のエンジンパワーを最大に発揮させるため、スロットルを直接制御することで、アクセル全域のレスポンスをクイックにアップさせ、アクセル開度に対しリニアな反応で、よりワイヤースロットルに近い操作性を可能としました。また、ミッションの特性やお好みに応じ 10 段階のレスポンス調整も可能です。

■ 全域のレスポンスがアップ

アクセル全域のレスポンスがクイックにアップし、リニアなアクセル操作が行えます。

■ レスポンス調整機能

MT と AT では異なるスロットル特性やお好みに応じ 2 モード 10 段階のレスポンス調整が可能です。

■ 初期設定なしの簡単装着

接続はエンジンルームのコネクターへカバーオンで、製品は両面テープ装着し、装着時の初期設定も不要です。

■ ハンチング防止

過度な制御によるスロットル弁のハンチングを起こさない適正範囲での制御で気流やスロットルトラブルを防止。

■ 安心なノーマル制御

ダイヤルで簡単にノーマル（純正状態）切り換えできるため、ディーラー点検や万一のトラブル時にも安心。

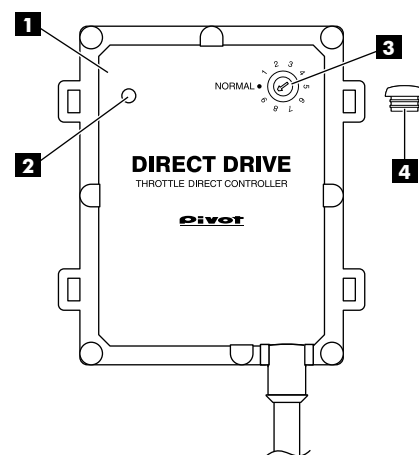
■ 防水構造

2重耐水コート基板と結露防止の排水構造で通電トラブルを防止。

■ スロコンとの併用について

スロコン（3-drive）との併用は、加速が強くなるため行わないでください。既にご使用の方はノーマルまたは ECO モードでご使用ください。

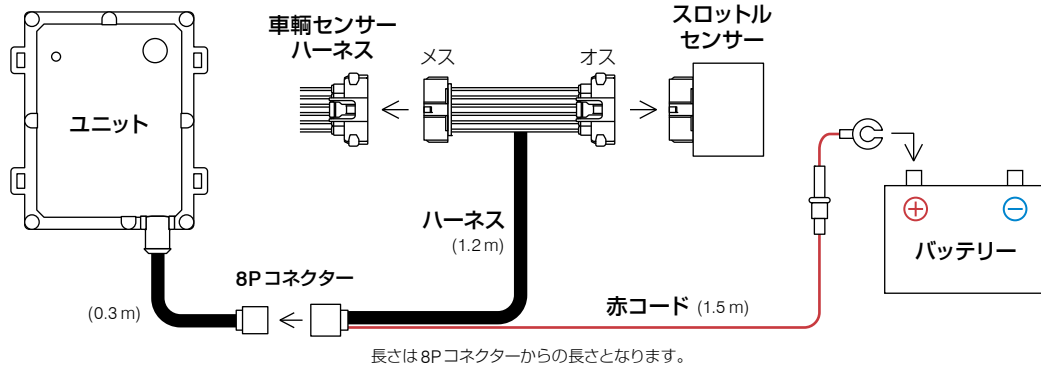
各部の名称



- 1 ユニット
- 2 LED …………… 作動中に点灯
- 3 調整ダイヤル …… レベル調整用
- 4 キャップ …………… 調整ダイヤルのキャップ

接続方法

基本配線



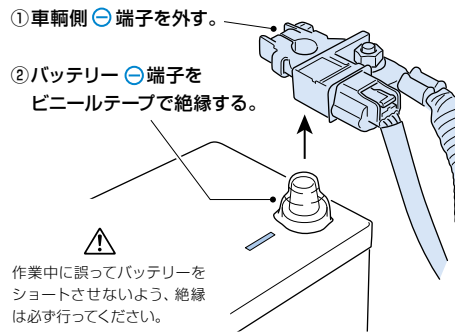
- 接続の際には下記手順にて行ってください。正確に行わないと車両の警告灯が点灯することがあります。
- バッテリーの⊕端子へ赤コードを接続するときは、必ず⊖端子を外してから行ってください。

接続手順

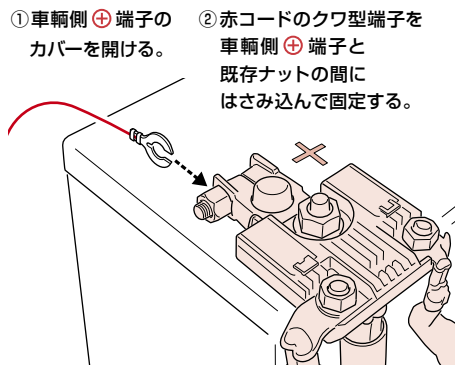


キースイッチONの状態ですロットルセンサーのコネクターを抜くとチェックランプが点灯しますので必ず下記の順番で作業をしてください。また万一点灯した場合は4ページ「チェックランプ消灯方法」を参照ください。

- 1 キースイッチをOFFにする。
- 2 ボンネットを開ける。
- 3 バッテリーの車両側⊖端子を外す。

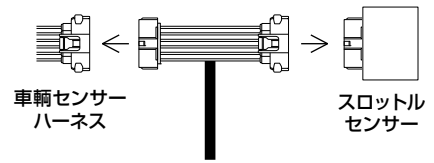


- 4 常時電源を接続する。

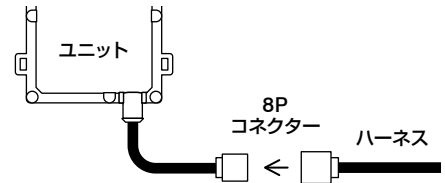


- 5 スロットルセンサーへ接続する。

センサーの位置は3ページに記載



- 6 ハーネスをユニットに接続する。

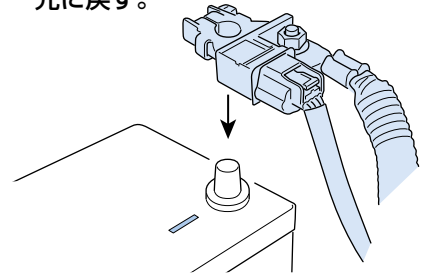


- 7 ユニートを固定する。

ユニット固定例と固定方法は3ページに記載

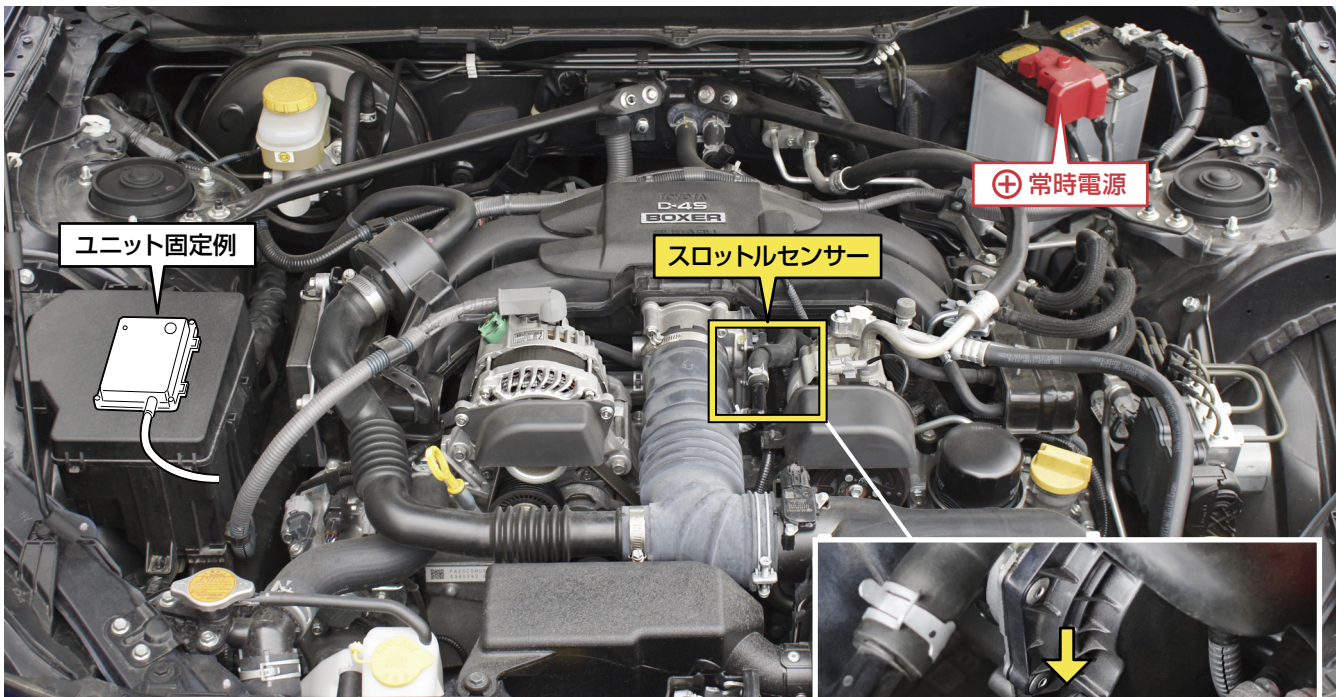
- 8 ハーネスを固定する。

- 9 バッテリーの車両側⊖端子を元に戻す。



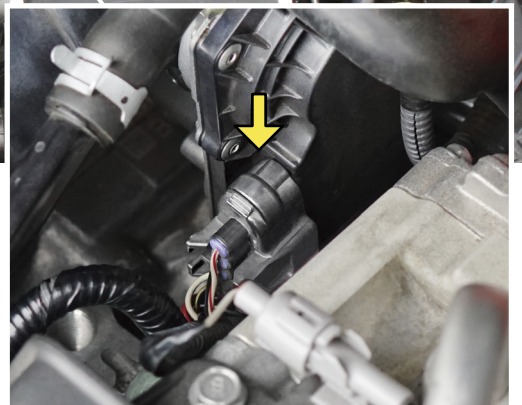
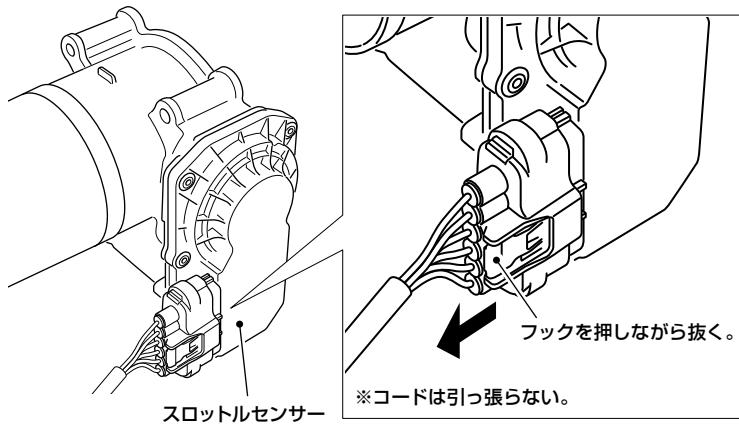
- 10 エンジンを始動して、LEDが点灯していることを確認する。

センサーの位置とユニット固定例



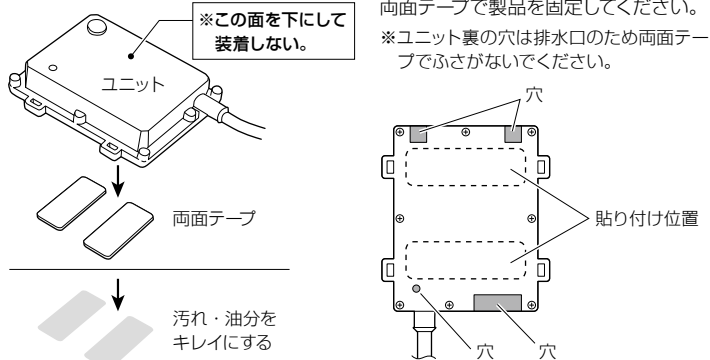
●コネクタの取り外し方

コネクタのフック部を押しながら抜いてください。



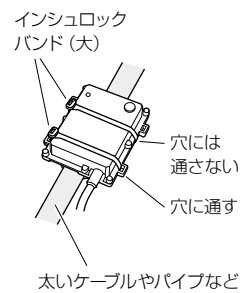
固定方法

●平面に固定する場合

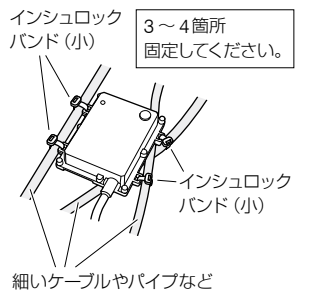


●ケーブルやパイプなどに固定する場合

太いケーブルに固定する場合



細いケーブルなどに固定する場合



※エンジン本体など振動の大きい場所や高温となる場所には装着しないでください。

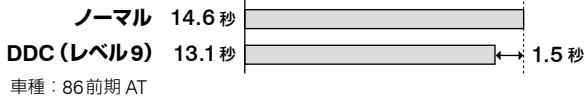
レベル調整

お好みに応じてレベルを調整してください。

※製品出荷時はレベル9に設定されています。

レベル (ダイヤル値)	0	1 2 3 4	5 6 7 8 9
モード	ノーマル	コンフォート	スポーツ
レスポンス			

アクセル開度30%時の0-100km/h比較例

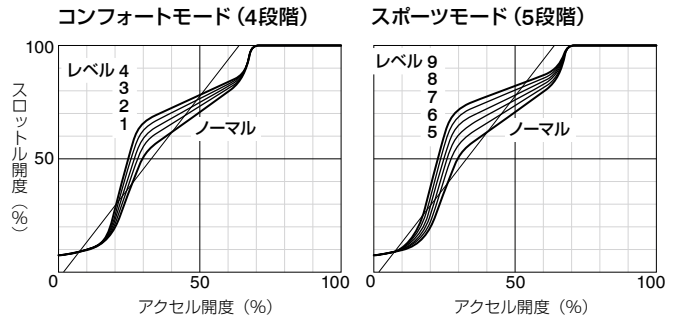


各モードの特長

- ノーマル** 純正状態の特性
- コンフォート** 中域から高域のレスポンスを上げることで市街地からスポーツ走行まで乗りやすさも両立。
- スポーツ** 全域のレスポンスを上げ、特にサーキットなどのスポーツ走行に最適。

※各モードはMT車、AT車に関係なく、あくまでもお好みで調整してください。

スロットル開度変化 車種：86後期 MT



調整方法

- 1 キースイッチをOFFにする。
- 2 調整ダイヤルを回し、レベル設定する。

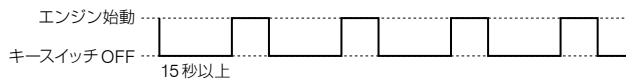
キャップを外す。 マイナスドライバーで数字に矢印を合わせる。 キャップを戻す。
- 3 キースイッチをON、またはエンジンONにする。

故障かな?と思ったら

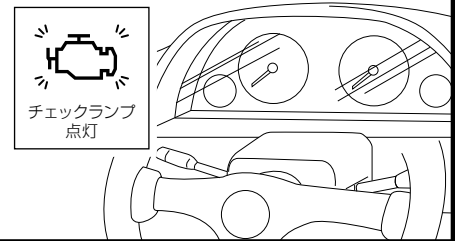
症状	原因	対策
LEDが点灯しない。または点滅する。	ハーネスの接続不良。	正常に接続する。
体感できない。	赤コードの接続不良。	正常に接続する。
	レベル設定が低い。	レベル設定を高くする。
チェックランプが点灯する。	レベル設定の上げすぎ。 (車輛の個体差による)	① チェックランプを消灯させる。 (下記「チェックランプ消灯方法」参照) ② 調整ダイヤルを2～3下げる。(「レベル調整」参照)
	ハーネスのコネクターの接続不良。	① チェックランプを消灯させる。 (下記「チェックランプ消灯方法」参照) ② 各コネクターの接続を確認する。 ③ 調整ダイヤルをNORMALにする。(「レベル調整」参照)
	上記対策を行ってもチェックランプが点灯する場合は、弊社へお問い合わせください。	

チェックランプ消灯方法

- ① キースイッチを15秒以上OFF後、エンジン始動する操作を4回以上繰り返す。



- ② ①で消灯しない場合は、バッテリーの⊖端子を約10分外し元に戻す。
- ③ ①②で消灯しない場合は、カーディーラーなどで消灯作業を行う。



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。